

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
令和2年度第9回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和3年3月24日（水）16:00～17:30
- 場 所：こども病院 講堂
- 出席者：原理事長（議長）、桑野副理事長、石原理事、神坂理事、久保理事、野中理事  
久留監事、柳澤監事
- 議 事

【議案審議】

1 議案第13号 令和2年度補正予算について

<概要> 補正予算について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

（補正内容）

国の補助金の趣旨に則り、職員に「新型コロナウイルス感染症対応業務従事手当（一時金）」を支給することとし、給与費を補正するもの。

市民病院の給与費の増加：1億5,300万円（こども病院は現予算内で対応）

<主な意見等>

- 特になし

2 議案第14号 令和3年度年度計画（案）について

<概要> 年度計画について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

（主な取り組み）

《医療サービス》

【良質な医療の実践】

- （こども病院）医師業務のタスクシフティング、機器・人員の集約化及び診断技術の教育を目的としたエコーセンターの設置。
- （市民病院）入院を要する重症度の高い救急患者の受入れを円滑に行うための救急受入体制や病床の運用の見直し。

【地域医療への貢献と医療連携の推進】

- （こども病院）オープンカンファレンスのWEB開催など地域の医療従事者への教育研修、院内における退院支援や多職種を対象とした研修会等の実施。
- （市民病院）地域の医療機関に対するICTを活用した情報配信や積極的な連携・支援、緊急時の円滑な入院受入れ、認定看護師による退院前後の患者の訪問指導等。

【災害時等の迅速かつ的確な対応】

- （こども病院）緊急時参集システムを活用した非常招集訓練及び大規模災害を想定した患者受入訓練の実施や防災マニュアル等の定期的な見直し、災害備蓄品等の点検の徹底。
- （市民病院）新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として、感染拡大時の対応やワクチン接種などにおける市や他の医療機関等との積極的な協力・連携。

《患者サービス》

【患者サービスの向上】

- （こども病院）ICTを活用した外来予約システムの機能拡大等。
- （市民病院）高齢者や単身者の入院生活のサポートとして、衣類・タオル類等のレンタルサービス導入の検討。

【情報発信】

- （こども病院）ホームページのコンテンツの工夫やSNSの活用。

- (市民病院) ホームページの全面リニューアルや医療機関向け広報ツールの作成。

#### 《医療の質の向上》

##### 【病院スタッフの計画的な確保と教育・研修】

- 看護師のオンライン就職説明会等の実施、WEBの活用等による全職員を対象とした医療の質向上に資する研修の実施。

##### 【信頼される医療の実践】

- 新型コロナウイルス感染症への院内感染防止対策の徹底や医療安全の教育・研修の実施。

#### 《働きがいのある職場環境づくり》

- 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえたメンタルサポートの環境づくり、ハラスメント防止に向けた研修会の実施。

#### 《法令遵守と公平性・透明性の確保》

- 管理監督者を対象としたコンプライアンス研修や全職員を対象とした情報セキュリティ研修の実施。

#### 《収支改善》

##### 【収益確保】

- 各種補助金の活用や、市民病院における難易度の高い手術症例確保のための「ICU・救急プロジェクトチーム(仮称)」の設置。

##### 【費用削減】

- ICTの活用による業務の効率化、価格交渉等による診療材料費の更なる縮減。

#### 《福岡市立こども病院における医療機能の充実》

- (こども病院) 電子カルテシステムの新システムへの円滑な移行。

#### 《福岡市民病院における経営改善の推進》

- (市民病院) 新型コロナウイルス感染症対策における市の中核的な役割を果たすとともに、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら経営の効率化を推進。

#### ＜主な意見等＞

- コロナの入院患者は高齢者が多くて長引きやすいため、民間施設等との連携が重要である。回復期のリハビリを受ける施設も少しずつ増えてきている。
- 機器購入など設備投資については、長期的な買換えプランに基づいて計画している。

### 3 議案第15号 令和3年度予算(案)について

＜概要＞ 予算について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

収入：17,050百万円 支出：19,079百万円

(収支計画 収益：17,097百万円 費用：17,283百万円 純利益：▲186百万円)

#### ＜主な意見等＞

- 令和2年度と比べて収支悪化が見込まれている。コロナが落ち着けば改善すると思うが、変異株も出てきており、ワクチンでどの程度収まるか見通すのは難しい。
- コロナの空床確保の補助金を収入に計上しているが、確保病床がどの程度空床となるかはコロナ感染者の受入れ次第である。確保数は県から割振られているが、患者が急に増えても

受入できる体制は必要である。

- 第4期中期計画が終了する4年後には積立金が底をつく見込みであり、コロナで落ち込んでいる収益の確保は切実な問題である。
- コロナの患者はほとんど公立病院で受入れており、空床確保などは社会的に税金投入が必要な経費であるが、休業補償などの経済対策と比べてあまり報道されていない。多くの市民が、感染症対応における公立病院の存在価値を認識したと思われるが、最前線でコロナに対応している病院の状況を発信することで、財源確保の必要性についても理解が得られればと思う。

#### 4 議案第16号 職員就業規則等の一部改正

<概要> 規程改正等について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

(改正等の内容)

- ・不妊治療のための職務専念義務の免除の新設
- ・職務専念義務の免除の見直し（妊娠中又は出産後1年以内の女性職員の健康診査等により職務専念義務を免除することについて無給から有給へ変更）

<主な意見等>

- 不妊治療は女性だけの問題ではなく男性に原因がある場合もあり、職務専念義務の免除対象は性別によらず職員としている。

#### 5 議案第17号 職員給与規程の一部改正

<概要> 規程改正について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

(改正内容)

当機構の給料表等について、準拠している国立病院機構の状況を踏まえ、改定を行うもの。

<主な意見等>

- 有期職員も正規職員と同じ給料表を適用しているが、有期職員の給料表は若い人を基準としており、正規職員と比べて改定額の平均は大きくなる。有期職員が5年経過して無期転換することもあるが、そのまま同じ給料表を適用している。

#### 6 議案第18号 福岡市立こども病院医療情報システム更新に係る契約締結について

<概要> こども病院における電子カルテを中心とした医療情報システムの更新に係る契約締結について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

<主な意見等>

- 今回は既存システムの更新とのことだが、システム整備においては、最新の事例を調査するとともに、将来的に世の中がどうなっていくかを見据え、どういうシステムにしていくかという思想（グランドデザイン）を持つことが重要なので、今後検討されたい。
- キャッシュレスやオンライン診療など、国が進めようとしている施策に合ったものとなるよう準備する必要があるが、今後はクラウド化して異なるメーカー間でもAPI（Application Programming Interface）で連携可能にすることなども重要になってくる。高額な投資なので、業者には必要に応じて対応するよう要請されたい。
- DX（digital transformation）が話題となっているが、患者の利便性と安全安心な医療という2つの視点で、仕事を見直していく必要がある。多少費用がかかってもユーザーの利便性や生産性、効率性が向上すれば数年で取り返せると思うので、積極的に取り組まれない。
- 部門システムが多くて複雑である。他の病院で業者を変えるときに統一した例もある。小

児で特殊性がありコストもかかるとのことで、一気にやるのは難しいと思うが、業者を中心にして取り組むべきところなので、他の病院の事例を確認して今後の参考とされたい。

- バックアップの分散化やセキュリティ対策も重要なので、更新時だけでなく中長期的、恒常的に検討されたい。

## 【報告事項】

### 1 令和3年度 理事会開催日程について

<概要>

令和3年度 理事会開催日程について、事務局より説明を行った。

<主な意見等>

- 特になし